

ほそ川建設（株）環境行動計画

平成 22 年 7 月 29 日

取 組 方 針

ほそ川建設株式会社は、『心地よい住空間を創造し、美しい金沢の街づくりを目指して』をモットーに、日々、技術を追求することによって、最新の快適さ・豊かさをお客様に提供し、洗練されたデザインの建築を通して、美しい金沢の景観づくりに貢献することを目標としています。

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源
- ② 廃棄物排出量の抑制とリサイクルの推進
- ③ グリーン製品の購入の推進
- ④ 環境にやさしい製品の提案と普及

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 22 年 7 月 29 日

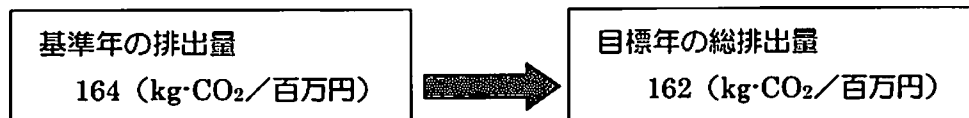
ほそ川建設株式会社

代表取締役社長 細川 外茂治

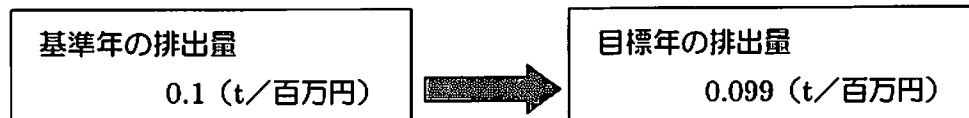
3 環境負荷の低減目標

22 年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも 21 年です。）

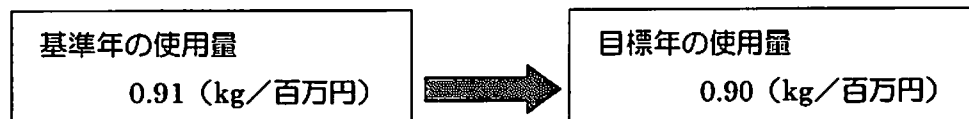
【目標 1】 二酸化炭素の排出量(売上高当り)を 1%削減する



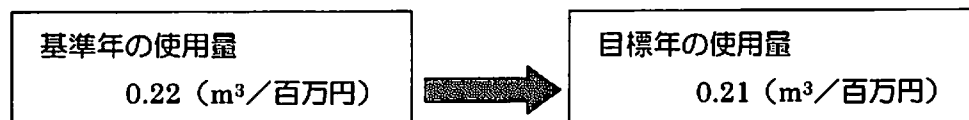
【目標 2】 産業廃棄物の排出量(売上高当り)を 1%削減する



【目標 3】 コピー用紙の使用量(売上高当り)を 1%削減する



【目標 4】 水使用量(売上高当り)を 1%削減する



【目標 5】 グリーン製品の購入に努める

【目標 6】 省エネ住宅の普及に努める

4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

（製造部門での活動）

- ・ 作業内容に適應した建設機械・車両を採用する
- ・ 低騒音型・低振動型の建設機械を使用する
- ・ 建設機械・車両のアイドリングストップを促進する
- ・ 鋼製型枠など非木材型枠を使用する
- ・ 協力会社にも必要な環境への取組を要請する

（事務・営業部門での取組）

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時 26 度、暖房時 20 度）に設定する
- ・ エアコンの使用期間中は、毎月 1 回フィルターを清掃する
- ・ 空調を必要な区域・時間に限定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ クールビズ、ウォームビズに取り組む

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- ・ 再資源化効等率の高い中間処理業者に委託する
- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ・ 再使用・リサイクルしやすい製品を優先的に購入・使用する

(一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ シュレッダーの使用を機密文書に限る
- ・ 新しい製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する

【取組5】 グリーン製品の購入

- ・ コピー用紙、印刷物は再生紙を使用する
- ・ 文具類などはエコマーク製品、グリーンマーク製品を優先的に購入する
- ・ 作業服、スタッフジャンパーなどは、リサイクル製品を注文する

【取組5】 省エネ住宅の普及

- ・ 省エネ住宅（高気密・高断熱・計画換気住宅）を提案する
- ・ 給湯機、空調機器は省エネ製品を採用する
- ・ 太陽光発電の導入を提案する

【取組6】 その他の取組

- ・ いしかわ環境パートナーシップ県民会議に参加する
- ・ 団体などからの環境保全に関する要請に対して協力する
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、二半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。